# 3-2-3. 苗木のサンプリング調査結果(ヒノキ)

# (1) 島根県ヒノキ (当年生苗・2年生苗)

調査実施年度	平成 30(2018)年度	
生産者	I氏(当年生苗、2年生苗)	
植栽場所	島根県飯南町	

# 【地上部の計測結果】

平均苗長、平均根元径ともに当年生苗の方が2年生苗より小さい値を示した。平均形状比は当年生苗と2年生苗で同程度であり、どちらも100を僅かに超えていた。

表 3-12 計測結果(島根県\_ヒノキ)

		当年生苗	2年生苗
標本数 (本)		20	20
苗長	平均	33.0	48.1
(cm)	標準偏差	4.4	7.8
	最大値	40.7	62.1
	最小値	25.5	36.2
根元径	平均	3.2	4.8
(mm)	標準偏差	0.6	0.7
	最大値	4.5	5.9
	最小値	2.3	3.4
形状比	平均	105.0	102.1
	標準偏差	19.7	17.1
	最大値	162.8	134.1
	最小値	75.7	65.8

《出荷規格》	
コンテナ:	150cc
2 年生苗:	苗長:なし
	根元径:なし
当年生苗:	苗長:なし
	根元径:なし

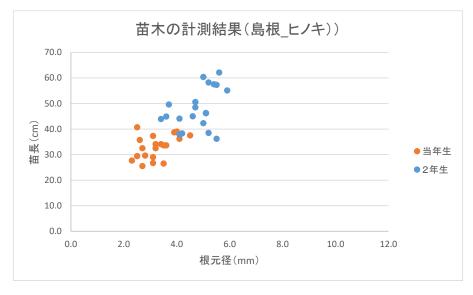


図 3-23 計測結果(島根県\_ヒノキ)

# 【絶乾重量の計測結果】

当年生苗については、乾燥に失敗したためサンプル数が9個となった。

当年生苗と2年生苗の各部位の重量(絶乾重)及び T/R 率(地上部と根の重量比)を比較した。当年生苗の T/R 率は 2.3、2年生苗の T/R 率は 3.2 となり、当年生苗の方が低い値を示した。

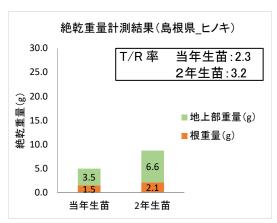


図 3-24 絶乾重量計測結果(島根県 ヒノキ)

#### 【根鉢の計測結果】

根鉢の硬度と根鉢に占める根の平均被覆率を根鉢形成の指標として、当年生苗と2年生苗を比較した。当年生苗の根鉢の硬度は上部、下部ともに10に近い値だった。当年生苗の根の被覆率は42.3%と、こちらも2年生苗と大きな差は無かった。当年生苗の根の到達状況については、根鉢下部と根鉢上部へ十分展開していた。以上より、当年生苗の根鉢は、2年生苗ほどではないが比較的形成されていると言える。

なお、根鉢表面の白根は、当年生苗と2年生苗ともに全ての苗で見られた。

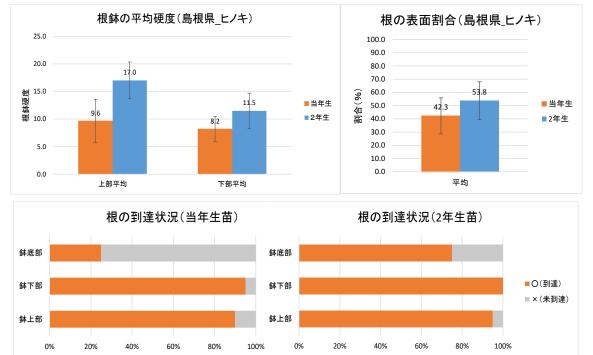


図 3-25 根鉢の計測結果(島根県 ヒノキ)



根系の写真は、調査開始当初には撮影していなかった。

写真 3-14 島根県ヒノキ当年生苗の状況



根系の写真は、調査開始当初には撮影していなかった。

写真 3-15 島根県ヒノキ2年生苗の状況